

## ラヂオきしわだ番組審議委員会第 24 回議事録

開催日時 平成 27 年 4 月 17 日 14 時から 15 時  
場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	永谷 裕久	ご欠席委員	寺田 篤史
	杉本 昇		
	片山 智信		
	谷口 真澄		
	西村 静代		
	芦田 有香		
	近松 健二		
	泉原 一弥		
局長	山田 剛	出席	
事務局長	北野 忠夫	同席	

### 1. 番組編成他

番組審議委員長の永谷氏が開会を告げ、山田局長より新しく 2 名の方が審議委員になられた事を報告する。寺田委員から所用で欠席のご連絡があった事も合わせて報告する。永谷委員長から、新任の方も居られるので自己紹介をとの提案が有り、審議委員の方 8 名と局の 2 名が自己紹介をする。

山田局長より、4 月から再放送の時間が一部変更になった事と、前回の審議会時に放送が終わると報告していた「伊藤忠の俺あかんねん」が引き続き放送される事になった経過を説明する。

### 2. ご審議いただく番組

寿々木ゆみの真夜中演歌ラヂオ（火曜日 22 時からの 30 分番組）を聴いていただく。

山田局長より買取枠の番組で有る事、歌手なのでおしゃべりに関しては素人で本庄君がリードしていると説明する。永谷委員長より、題名が真夜中ラヂオとなっているが夜 10 時ではまだ早いのではとのご意見が有り、山田局長からご本人は夜 10 時は真夜中と思っておられるのではと答える。西村委員より、流れている曲はリクエストなのかとの問いに山田局長からご本人の選曲も有る事を説明する。永谷委員長より、寿々木さんと岸和田の関係はと訊かれ、山田局長が岸和田の方である事の説明をする。ゲストに出ておられた方が千葉の方だったので、永谷委員長・芦田委員・近松委員より、ご本人が岸和田の方ならゲストを遠くから呼ぶよりも、地元岸和田の方をゲストに呼んだ方が良いのではとのご意見が有り、山田局長から全部を岸和田で補うのは難しいが、製作者に伝えておくと答える。永谷委員長より、全部は無理でもできるだけその方向性を持ってとのご意見を受ける。谷口委員より、ゲストの方の生産している商品（アボガド豚）が岸和田のどの店で売っているかとの情報が有れば、岸和田との接点もできる事になるとの提案をいただく。永谷委員長から、本庄君は笑い声が大きいのはマイクに近付きすぎているとのご指摘を受ける。

ここからKIT(土曜日10時から11時 再放送 同日15時から16時)を聴いていただく。山田局長より、4月から時間が入れ替わって10時からになった事や番組名の由来、パーソナリティーのおはなさんが、NPOで子育て支援活動をされている事の説明をする。永谷委員長から、聴いていると地元情報が入っているのは良い事と言われる。永谷委員長・近松委員から、声もすんなり入って来るし聴きやすいが少し早口なので若いお母さんには丁度良いのではとのご意見を受ける。谷口委員・芦田委員より、この番組なら保健センターの子供の検診情報や図書館での子供向き行事の情報を流せば良いのではとのご意見を受ける。山田局長より、その情報等は別の番組(おはきし広報コーナー)で流していると説明する。片山委員・芦田委員・谷口委員より、内容が題名だけでは分からないので、分かりやすい題名にするとかサブタイトルが有った方が良いのではとのご意見があり、山田局長がサブタイトルは子育て応援番組となっている事、題名の件はパーソナリティーのおはなさんに伝えておくと答える。永谷委員長・芦田委員から、土曜の朝はお母さんは忙しいので放送時間帯はこれで良いのか、ぜひ聴いて貰いたい番組なので時間帯を工夫して欲しいとのご意見が有り、山田局長が、パーソナリティーの都合とCMの関係も有ると説明して、今後検討すると答える。

### 3. その他のご意見他

泉原委員より、放送を聴くのにテレビ岸和田のケーブルを分岐してと説明しているが意味がよく分からないとのご指摘が有り、永谷委員長からも、家庭でも聴きたい方がおられるのだからもっと分かりやすくした方が良いとのご意見を受けて、山田局長から昔のテレビの分配器のような物と現物を出して説明するが、ラジオで聴くだけではご家庭の方には難しいと思えるのでホームページに写真付きで説明を載せる事にしますと答える。芦田委員より、何処のケーブルTV局もそうしているのかとの問いに、山田局長からテレビ岸和田だけでJCOMでは聴けない事を説明する。

泉原委員より、放送中にメールを送っているが反映されない事が有るようだが? 放送が終わった後でもメールで返信とか何かあればと思うがとのご意見が有り、山田局長が、できるだけ放送には入れるようにしているが、メールが多く来すぎると時間内に全部を読み上げや反映ができない事が有る、またフェイスブックの分にも返信したりしているので曲の流れている間は忙しいパーソナリティーも多いため、見逃しているケースも有るかもしれないがリスナーとの対話は大切にしている。生放送のような感じで録音放送の時も有るので、これは了解して欲しい。次の生放送の時に反映するようにしていると説明する。他の委員の方からも、メールは局とリスナーの関係を近付けるもので、リスナーの拡大にも繋がるので大切にしたい等のご意見を受ける。

次回の第25回番組審議委員会を、6月19日(金)午後2時から開催する事を決め閉会する。

以上